

アドバリーシステム製 Armadillo-810 向け有線 LAN 拡張ボード 「ATB-A810LAN」 の使用方法について

1. カーネルパラメーターの設定

ATB-A810LAN に搭載される USB to Ethernet Controller のドライバである SMC95XX Driver を使用する場合、高負荷時に通信が停止する現象が発生する事がありますので、以下のカーネルパラメーターを設定したほうが安全です。

```
smc95xx.turbo_mode=N
```

カーネルパラメーターの設定は、Armadillo を保守モードで起動し、コンソールから以下のコマンドを実行してください。

```
hermit> setenv console=ttySC2,115200 earlyprintk=sh-sci.2,115200 smc95xx.turbo_mode=N
```

2. LAN ドライバの有効化

対応の LAN ドライバは linux-3.4-at6 (Linux カーネルイメージファイル linux-a810-v1.05.bin.gz) 以降の Armadillo-810 用デフォルトカーネルコンフィギュレーションで有効化されています。

linux-3.4-at5 以前のカーネルを使用し開発を行う場合は、LAN ドライバを有効化するため、以下のコンフィギュレーションを有効にし、Linux カーネルをビルドしてください。

```
Linux/arm 3.4-at3 Kernel Configuration
Device Drivers ->
  Network device support ->
    USB Network Adapters ->
      <*> SMC LAN95XX vased USB 2.0 10/100 ethernet devices    ←有効化
```

ネットワークインターフェース名は「eth0」などになります。

※本文書は 2014 年 2 月 4 日付けの情報です。